

公共事業再評価調書（再々評価）

所管課： 河川課

1 事業概要 (整備目的)	事業名： 与那原川河川改修事業	前再評価年度：平成14年度		
	事業種別： 総合流域防災事業	事業主体： 沖縄県	(H. 5 ~ H. 19)	
	事業箇所： 沖縄市	根拠法令： 河川法	事業期間： H. 5 ~ H. 24	
	総事業費(百万円) 1,278	(672) 費用内訳： 補助 9/10 (7/10)	事業量： (2.52km) 2.52km	
1-2 前再評価以降の計画変更	計画断面の変更及び事業期間の延長			
2 再評価該当項目	<input checked="" type="checkbox"/> ① 再評価後一定期間（5年）を経過 <input type="checkbox"/> ② 事業の中止 <input type="checkbox"/> ③ その他（ ）			
3 再評価に至った主な要因 (具体的理由)	<input checked="" type="checkbox"/> ① 用地取得の困難 <input type="checkbox"/> ② 調査・設計の困難 <input type="checkbox"/> ③ 事業の拡大 <input type="checkbox"/> ④ 予算の確保 <input type="checkbox"/> ⑤ 手続き・法令の問題 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥ 他事業との関係 <input type="checkbox"/> ⑦ 整備効果の問題 <input type="checkbox"/> ⑧ 当初計画が長期間 <input type="checkbox"/> ⑨ その他（ ） 下流部の用地取得が難航しているため			
4 事業の進捗状況 (H19.3時点)	項目	事業費(百万円)	整備(km)	用地取得(千㎡)
	計 画	1,278	2.52	39.22
	実 施 済	676	0.30	23.68
	率	53%	12%	60%
4-2 前再評価以降の主な進捗	下流から中流部の用地取得を進めている。			
5 事業効果の評価指標 (検討年50年) (基準年 H19) (単位：百万円)	① 一般資産	434	① 事業費	1,278
	② 農作物	3,199	② 維持管理費	377
	③ 公共土木施設等	735		
	④ 間接被害額	94		
	⑤ 残存価値	1,128		
	便益	5,590	総費用	1,655
	基準年換算(B)	1,766	基準年換算(C)	1,365
費用便益比 (B/C) = 1766 / 1365 = 1.3				
6 事業を巡る状況の変化 (前再評価以降)	① 社会・経済： 沖縄市では「沖縄市アグリビジネス構想計画」が平成15年度から本格的に動き出し、平成19年4月にはアグリビジネス推進計画プロジェクト・チームも設置され農業振興施策の展開が急ピッチに進められている。計画地区内に位置する与那原川沿川では園芸生産ゾーンとしてビニールハウス等の農業近代化施設の整備をはじめ、食用菊やマンゴー栽培など、高品質の園芸品目の生産が増加し資産価値が高まっている。			
	② 地元・自治体： 沖縄市アグリビジネス計画による、中部ファーマーズマーケットが平成19年11月にオープンし、生産者と消費者の交流の場として賑わっている。近年の局地的な集中豪雨により与那原川が氾濫しマーケットへ出荷する農作物等へ被害を受けており、地元から早急な河川改修の要請がある。			
	③ 利害関係者： 事業に反対している地権者はいないが、単価不満により用地取得が難航している。			
7 事業の必要性・効率性	① 事業の必要性・緊急性・有効性など： 上流部は資産価値が高まっており、河川改修により被害の軽減を図り、流域内の資産を守る必要がある。			
	② 事業の効率性（代替案等の可能性やコスト削減）： 農地の浸水被害の早期軽減とアグリビジネス構想との連携を図るため、当面、上流部において断面狭小箇所の改修により事業効果の早期発現を図る。			
	③ 事業効果の発現状況： 本河川は大部分が未整備なことから事業効果は発現していない。			
8 今後の対応・見通し	① 事業計画等： 沖縄市アグリビジネス計画との連携により、地域の求める河畔林保全と親水性向上を図る河川整備を進める。			
	② 対住民関係： 引き続き用地交渉を重ね、地権者の理解を求めていく。			
	③ 執行体制等： 現在の組織体制で執行可能である。			
9 対応方針	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業継続（現計画） <input type="checkbox"/> ② 事業継続（見直し） <input type="checkbox"/> ③ 事業の中止			
10 その他 (前再評価での主な意見等)	・当面は現河川敷の中で浚渫等をやって効果があれば、これでいいのではないかと。			

* 1事業概要 の上段()は前再評価時点の計画